

関係機関の長 殿

独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校長
近藤科江(公印省略)

教員の公募について(依頼)

貴機関におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本校では下記のとおり物質化学工学科の教員を公募することになりました。
つきましては、貴機関関係者への周知方並びに適任者のご推薦について、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 職名・人員 助教 1名
2. 所属学科 物質化学工学科
3. 専門分野 広い意味での化学
4. 担当科目 情報リテラシー、化学・生物に関わる情報系科目、物質化学工学実験、卒業研究(本科)および特別研究(専攻科)
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有するか、着任までに取得が確実に見込まれる方。着任後3年以内に博士の学位を取得見込みの方も応募可。
(2) 高等専門学校の本科および専攻科の教育・研究・学生指導(課外活動を含む)・校務・地域貢献を理解し、熱心に取り組む意欲のある方。
(3) 令和8年4月1日時点で、35歳未満の方(雇用対策法施行規則第1条の3第1項3号のイ適用により、長期継続によるキャリア形成を図るため)。
6. 着任予定日 令和8年4月1日
7. 任期 着任後に博士の学位を取得見込みの場合、採用後3年間の任期付き採用とし、任期中に学位を取得した場合は、任期の定めのないものとします。
8. 提出書類 次の(1)から(5)および(6)または(7)の書類を提出してください。
(1)、(2)、(3)の「様式」は、本校トップページ > 採用情報
URL: <https://www.nara-k.ac.jp/employ/faculty/faculty.html>
からダウンロードしてください。
(1) 履歴書(氏名、現住所(連絡先)は自筆で記入)
(2) 教育・研究業績一覧
学術・教育論文、著書、学会口頭発表、受賞経歴、外部資金獲得実績等、企業経験者は業務経歴の追記も可(A4用紙1枚、書式自由)
※ 国際会議の場合、プロシーディングの表紙など、開催の実態が分かる資料を添付してください。
(3) 主要著書・論文の別刷3編以内(各1部、コピー可)および各々の概要
(4) これまでの教育・研究の内容を示した文書(A4用紙1枚、1500字程度、書式自由)
(5) 着任後の高等専門学校における教育および研究に対する抱負を記した文書(A4用

紙1枚、1500字程度、書式自由)

- (6) 応募者の研究・教育能力などについて参考意見を聞くことができる方1名の氏名、所属、連絡先 (A4用紙、書式自由、博士学位取得者)
- (7) 応募者の研究・教育能力などについて参考意見を聞くことができる方1名の氏名、連絡先および学位取得予定時期を記した書類 (A4用紙、書式自由、博士学位未取得者)

※ 提出いただいた書類等の返却を希望される場合、宛名、送付先を明記した宅配便の着払用伝票を同封してください。

※ 後日、着任手続きのため、改めて電子ファイル形式の書類提出をお願いすることがあります。

9. 応募締切

令和7年8月29日(金) 必着

10. 選考方法

第1次選考 書類審査

第2次選考 第1次選考合格者を対象に面接審査(令和7年9月下旬を予定)

※ 面接の際の旅費および宿泊費等は応募者の負担となります。

※ 本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、審査結果について同等と認められる場合は女性応募者を優先します。

11. 書類提出先

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町2番地

奈良工業高等専門学校総務課人事係

Tel: 0743-55-6014

※ 封筒に「物質化学工学科(化学)教員応募書類在中」と朱書きの上、特定記録で郵送願います。

12. その他

応募者の個人情報、奈良工業高等専門学校の教員を採用する目的のために利用するものであり、第三者に提供または公表することはありません。

13. 問い合わせ先

奈良工業高等専門学校 物質化学工学科主任 亀井 稔之

Tel: 0743-55-6155、 E-mail: kamei@chem.nara-k.ac.jp

以上

奈良工業高等専門学校物質化学工学科 公募補足資料

◆ 奈良高専の教員が携わる授業以外の職務概要

本校には本科（5年間）と専攻科（2年間）があります。高専はその教育目標や学生の年齢層（本科：15～20歳、専攻科：20～22歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があり、教員は、教育、研究、学校運営、学生の生活指導など多様な業務を要求されます。以下では、奈良高専の教員の授業以外の職務について理解を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

① 学級担任

学級担任は、一学級 40 人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたる指導を行います。例えば、ホームルームや教室清掃をはじめスポーツ大会や高専祭など各種行事における指導、学生の個人面談や保護者との懇談なども行います。

② 学校運営のための各種委員会

教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ各種委員会等があり、基本的に教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属する場合もあります。

③ 研究活動

高専の教員には、先端技術を教授するため、研究に対する意欲的な姿勢と研究成果を教育や地域社会へ還元することが期待されています。また、ご自身の専門性を活かして地域や産業界との産学連携にも関わっていただくことも推奨します。

④ クラブ顧問

原則として全教員が課外活動の顧問を担当しており、日常的な課外活動の指導をはじめ各種コンテスト、高専体育大会（地区大会、全国大会）の運営、各種大会・練習試合の引率や合宿時の指導等を行っています。

⑤ 学生寮の宿直

原則として全教員が交代で学生寮の宿直を行い、巡回・点呼や緊急時の対応などにあたっています。

⑥ 地域連携

地元の小学生・中学生を対象とした公開講座や科学教室などに講師として参加します。

以上